

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<26週> ヘルパンギーナ 千葉県、鳥取県、群馬県、宮城県、埼玉県などで報告数が多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<手足口病> 第26週の報告患者総数は13,367で、定点当たり報告数は4.5
<腸管出血性大腸菌感染症> 第26週の報告患者総数は110で、うち有症者は88



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 Vero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎 / 手足口病 / 咽頭結膜熱 / 流行性角結膜炎



IASRからの速報
P.6-7

ウエディングケーキが原因食品となった *Salmonella* Thompson 食中毒事例 - 宮城県 / 他



海外感染症情報
P.8

コレラ流行 - ミクロネシア連邦 / 拡大し続ける世界的なHIV流行



感染症の話
P.9-12

HPS(ハンタウイルス肺症候群)
ウイルスはネズミを自然宿主とし、予防にはネズミとの接触を断つことが重要である



読者のコーナー
P.13



グラフ総覧(26週)
P.14-20



26週のデータ
P.21-28



発生動向総覧

第26週コメント 7月7日集計分

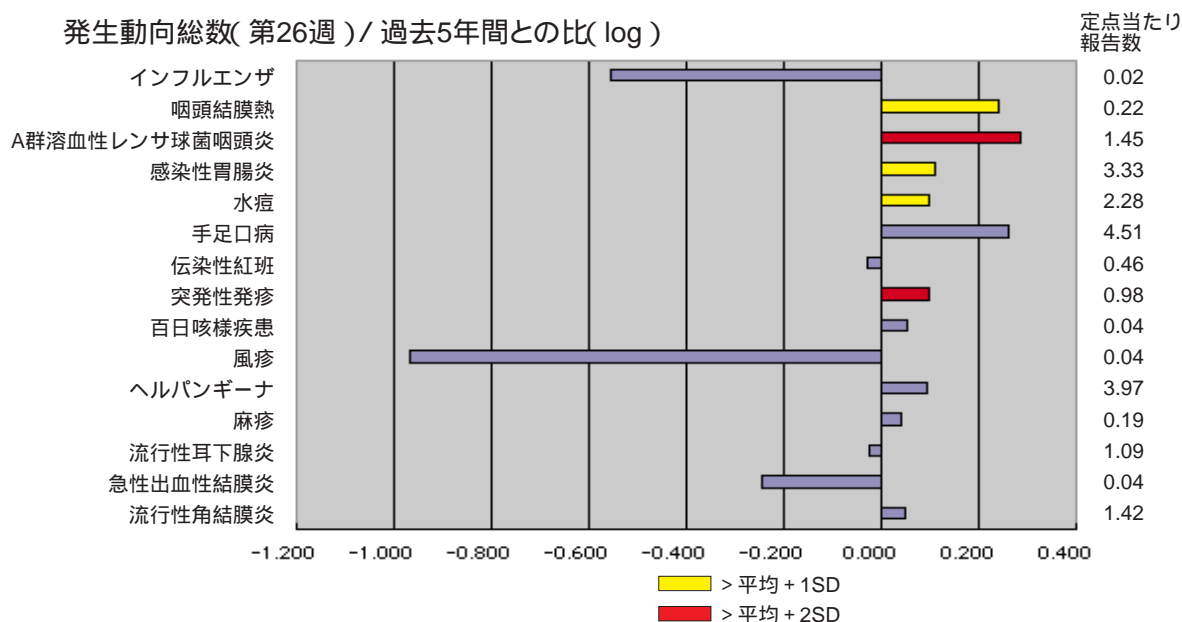
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢15例(推定感染地: 国内5例、インド2例、インドネシア2例、タイ1例、中国1例、その他1例、不明3例)
腸チフス4例(推定感染地: インドネシア2例、メキシコ1例、その他1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症110例
- 4類感染症: アメーバ赤痢5例、エキノコックス症1例(北海道)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、
急性ウイルス性肝炎6例 A型1例__推定感染地: 国内
B型1例
C型2例
その他1例__EBウイルス
不明1例
後天性免疫不全症候群5例 (AIDS4例、無症候性キャリア1例)
感染経路__不明2例、性行為感染3例うち異性間
2例、同性間1例
先天性風疹症候群1例、ツツガムシ3例、レジオネラ症5例、破傷風1例、
デング熱1例(推定感染地: インド)、梅毒4例(早期顕性1例、晚期顕性0例、
無症状3例、先天性梅毒0例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が依然例年の同時期よりかなり多く、とくに鳥取県で定点当たり報告数8.4と多くなっている。咽頭結膜熱と水痘の定点当たり報告数は例年の同時期よりやや多くなっている。手足口病は佐賀県、鹿児島県、熊本県、福岡県など九州地方と、群馬県、奈良県、和歌山県、山形県などで定点当たり報告数が多くなっている(4ページ注目すべき感染症参照、手足口病の病原体については5ページ病原体情報参照)。ヘルパンギーナも7月下旬のピークシーズンに向け患者報告数が増加しており、千葉県、鳥取県、群馬県、宮城県、埼玉県などで定点当たり報告数が多くなっている。麻疹の患者報告数は依然大阪で多い。

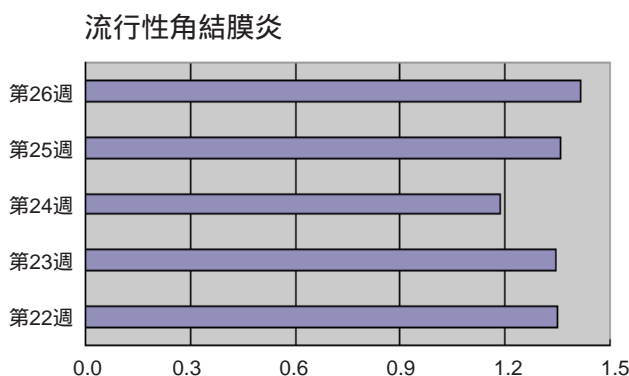
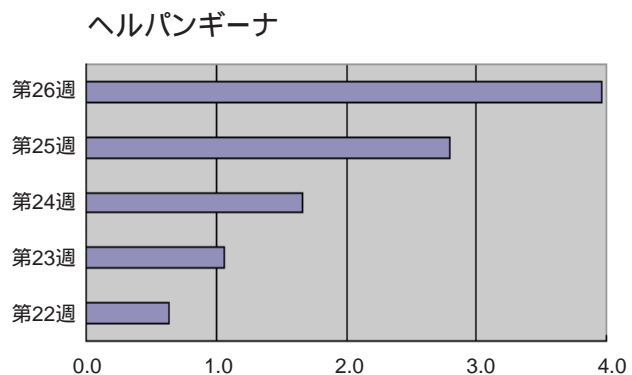
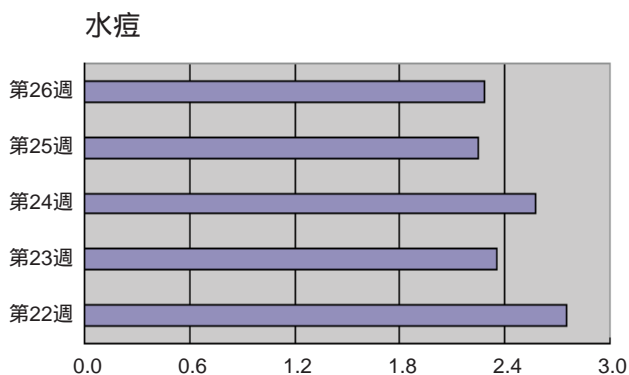
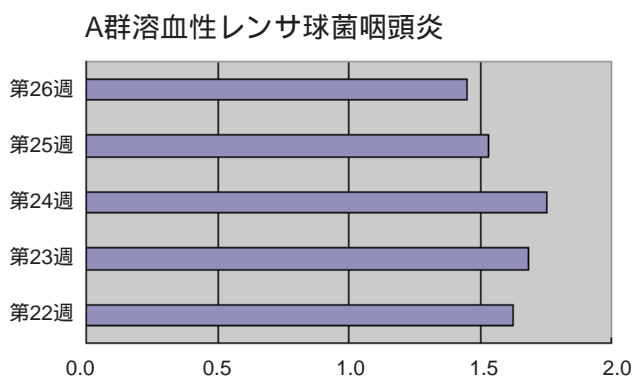
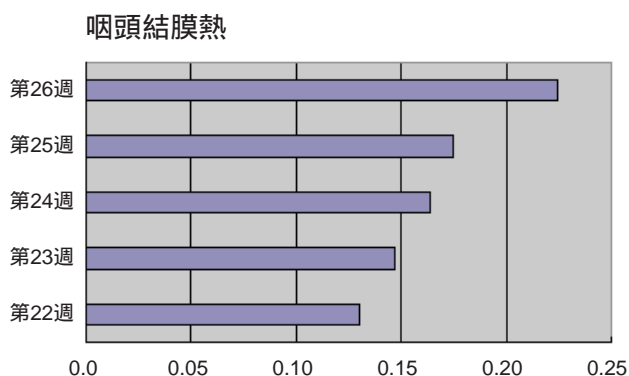
発生動向総数(第26週)/過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患-5週間の動き

咽頭結膜熱は4週続けて前週より定点当たり報告数が多くなっており、患者報告数は増加傾向にある。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週続けて前週より減少した。流行性角結膜炎の定点当たり報告数はこここのところ大きな増減は無く、ほぼ横ばいとなっている。水痘の定点当たり報告数は前週とほぼ同じであった。ヘルパンギーナは、7月下旬のピークシーズンに向け患者報告数が著明な増加傾向を示している。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

手足口病流行状況

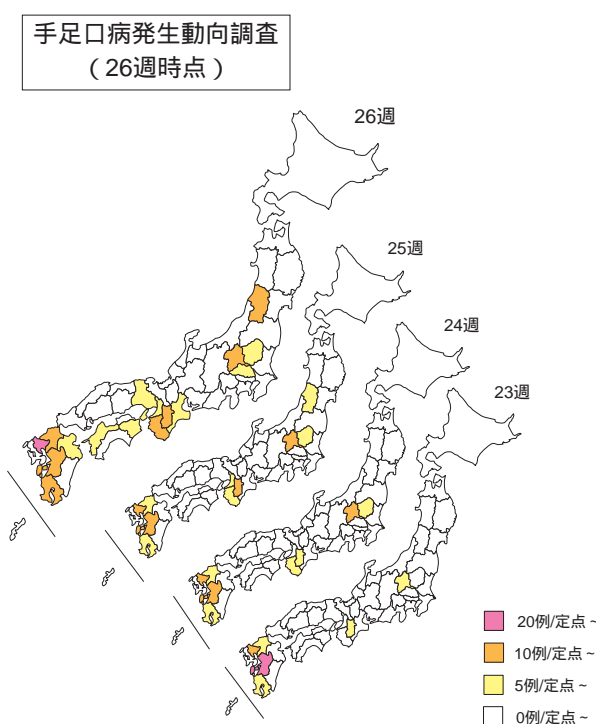
今シーズンは第13週ごろより流行曲線が立ち上がり始め、第20、21週と患者報告数が急増した。流行の大きかった'90年、'95年の流行曲線も第19週頃より急速に立ち上がっており、今年の流行曲線も現在のところこれらの流行年に見られたパターンに近く、今後疾患の動向に注意が必要である。

第26週(6月26日 ~ 7月2日)の、全国定点医療機関からの手足口病報告患者総数は13,367で、定点当たり報告数は4.5であった。定点当たり報告数が多いのは、以下の地図グラフで示すとおり、佐賀県(定点当たり報告数24.2)、熊本県(11.9)、鹿児島県(11.6)、福岡県(11.2)などの九州地方と、群馬県(15.8)、奈良県(14.7)、和歌山県(14.1)、山形県(11.1)などである。

患者の年齢階級別では、2歳以下の乳幼児が全体の4割、5歳までで全体の約9割を占めている。患者発生のピークは1~4歳にあり、2歳で最も多くなっている。

手足口病は小児科定点から報告される定点把握の疾患であるが、実際はこれらの定点医療機関を受診した成人例も報告されており、20歳以上の患者が全体の1%程度見られる。

病原体報告によると無菌性髄膜炎から分離されたEV71は6件であった。病原体検出情報事務局に入った情報によると、熊本県の手足口病患者及び無菌性髄膜炎患者からはEV71が分離されており、福岡市、北九州市もEV71、奈良県、山形県ではコクサッキーウイルスA16型が分離されている(5ページ病原体情報参照)。



腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2000年第26週(6月26日 ~ 7月2日)の、腸管出血性大腸菌感染症報告総数(無症状病原体保有者含む)は110で、うち有症者は88であった(Vero毒素産生性大腸菌O157、O26の検出状況については、5ページ病原体情報参照)。2000年第1週からの累積患者報告数は828となり、東京都、大阪府、福岡県、神奈川県、愛知県、兵庫県など大都市を含む都府県で報告数が多い。



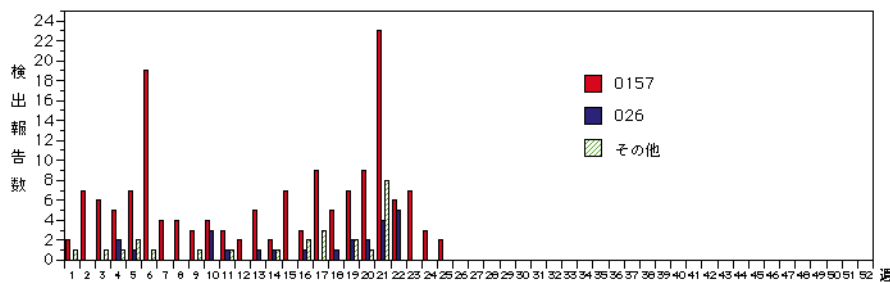
病原体情報

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告

2000年(2000年7月7日現在報告分)

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が154件、O26が24件であり、5月以降ではO157が札幌市、山形県、岩手県、千葉県、千葉市、岐阜県、石川県、富山県、大阪府、滋賀県、和歌山県、広島市、島根県、佐賀県、大分県、宮崎県から、O26が札幌市、岩手県、岐阜県、富山県、大阪府、滋賀県、島根県、福岡市から分離が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2000年 (病原微生物検出情報: 2000年7月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス

2000年(2000年7月7日現在報告分)

エコーウイルス3型が神戸市(第25週)から1件、エコーウイルス4型が福岡市から1件(第16週)、エコーウイルス6型が福井県(第1週)と京都市(第4週)から各1件、神戸市から2件(第23,26週)、エコーウイルス9型が奈良県から6件(第15,16,17,20週)、エコーウイルス11型が奈良県(第3週)と高知県(第20週)から各1件、コクサッキーウイルスB4型が北九州市から1件(第8週)とB5型が島根県(第14週)と香川県(第15週)から各1件、エンテロウイルス71型が熊本県(第14週)と大阪市(第21週)から各1件、ムンプスウイルスが東京都から4件(第12,17,18週)、広島県から3件(第8,9,13週)と広島市から1件(第14週)、名古屋市から1件(第13週)、大阪市から1件(第20週)、香川県から1件(第21週)の分離報告があった。

手足口病患者から分離されたウイルス

2000年(2000年7月7日現在報告分)

コクサッキーウイルスA16型が大阪市から1件(第10週)、山形県から9件(第16週:1件、19週:3件、20週:4件、21週:1件)と奈良県から2件(第18,20週)、栃木県から7件(第21週)、コクサッキーウイルスA6型が栃木県から1件(第21週)、コクサッキーウイルスA9型が新潟県から1件(第15週)、エンテロウイルス71型が神奈川県から2件(第4,6週)、大阪府から2件(第6,9週)、熊本県から1件(第13週)、福岡市から3件(第14,17,20週)、大阪市から1件(第20週)、北九州市から3件(第18,21,24週)の分離報告があった。

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス

2000年(2000年7月7日現在報告分)

アデノウイルス1型が川崎市と長野県(第8週)から各1件、新潟県(第14,21週)から2件、大阪府(第20週)、北九州市(第24週)からそれぞれ1件、2型は長野県(第2週)、広島市(第8週)、東京都(第19週)、大阪府(第20週)、高知県(第21週)から各1件、北九州市から2件(第20,23週)、3型は大阪府(第3週)、広島市(第16週)、石川県(第23週)からそれぞれ1件、4型は新潟県から2件(第5,23週)、アデノウイルス6型が島根県から1件(第16週)、コクサッキーウイルスB5型が島根県から2件(第21週)の分離報告があった。

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス

2000年(2000年7月7日現在報告分)

岡山県からアデノウイルス4型が2件(第2,5週)、アデノウイルス7型が1件(第9週)、アデノウイルス37型が1件(第5週)、神奈川県(第2週)と川崎市(第5週)からアデノウイルス19型が各1件、川崎市からアデノウイルス2型が1件(第16週)、香川県からアデノウイルス3型が1件(第14週)、札幌市からアデノウイルス8型が1件(第18週)の分離報告があった。

ウエディングケーキが原因食品となった *Salmonella* Thompson 食中毒事例 - 宮城県

1999(平成11)年6月29日、医療機関から保健所に対し、1家族7名が下痢などの食中毒症状を呈している旨の届け出があった。さらに、他の複数の医療機関からも同様な患者を診察したとの連絡があったことから集団食中毒事件として調査を開始した。

聞き取り調査の結果、発症者の多くは6月27日に古川市内のA施設で行われた結婚披露宴の出席者とその家族であった。調査した96名のうち83名が喫食後2~48時間以内(多くは12~42時間)に軽度の発熱、水様性下痢、腹痛等の症状を呈していた(発症率87%)。

A施設では当日3組の披露宴が行われたが、患者は2組目の披露宴の参加者と、持ち帰ったケーキを喫食した家族に限定されていた。残ったケーキを食べたA施設の従業員も発症していることから、食中毒原因食品はウエディングケーキと推定された。ケーキはB店で2日前に製造し当日納入された3段の生ケーキで、上から1、2段は新郎、新婦が自宅に持ち帰り、3段目は披露宴会場で出席者に提供されたものであった。以上のことから、食中毒原因菌を特定するために披露宴関係者、A施設従業員およびB店従業員の検便と、A施設・B店に残された食材・調理器具等の細菌検査を実施した。

披露宴関係者の発症者のうち44名、A施設従業員3名、B店従業員2名から *Salmonella* Thompson が分離された。また、A施設に残っていたウエディングケーキと、B店内に店頭販売用として保存してあったチョコレートケーキおよびケーキ材料のバタークリームからも同様に *S. Thompson* が検出され、汚染菌量は約10の4~5乗個/gであった。

患者、従業員、ケーキおよびバタークリーム由来の分離株についての生化学性状試験および薬剤感受性試験の結果は、すべて同じであった。また、制限酵素 *XbaI* および *BlnI* を用いたパルスフィールド・ゲル電気泳動法による解析でもDNA切断パターンが一致した。以上の結果から、本食中毒事件の感染源となった原因食材は結婚披露宴に提供されたウエディングケーキで、原因菌は *S. Thompson* と断定した。

ウエディングケーキがサルモネラで汚染された過程を明らかにするため、ウエディングケーキの原材料と製造・配送工程の衛生管理について調査を行った。汚染原因は、当初バタークリームのメレンゲを作製する際に使用される凍結卵白が原因と考えられたが、同一ロットの原材料が残されていなかったため調査はできなかった。さらに、同時期に購入された凍結卵白からは *S. Thompson* が検出されず、原材料からの原因特定は不可能であった。一方、B店の従業員から聞き取りを行ったところ、バタークリームの仕上がり状態のチェックは従業員自身による味見が日常的に行われていた。また、作製したケーキは冷蔵装置の付いていない車で配送されていたことが明らかになった。

以上のことから、バタークリームの汚染原因は凍結卵白あるいは作業従事者の2つが考えられ、さらに製品の保冷不備が被害拡大要因として推察された。

B店では保健所の指導に従い従業員の衛生指導、消毒法等のマニュアルの作製、殺菌液卵等の使用、60℃3分加熱によるメレンゲ作製など衛生管理に努めている。

宮城県保健環境センター	斎藤紀行	佐々木美江	山口友美
	畠山 敬	秋山和夫	白石広行
宮城県栗原保健所	鈴木 功	佐藤俊郎	中島 博

(病原微生物検出情報6月号-*IASR* vol.21 No.6, 2000-掲載記事より)

埼玉県内産の豚からのインフルエンザウイルスの分離

我々は、1999/2000インフルエンザ流行シーズンに合わせて、豚からのインフルエンザウイルス分離を実施した。以下に概要を報告する。

1999(平成11)年10月~2000(平成12)年3月までの6カ月間に、県内の1と畜場において、生体検査で異常が認められなかった、主として約6カ月齢の肉用豚のと殺直後に、鼻腔あるいは咽頭より検体を採取した。検体採取は、毎週12頭、6カ月間で合計300頭(県内産130頭および県外産170頭)を実施した。採取した検体は、抗生物質処理後にMDCK細胞へ接種して、34℃で培養した。盲継代は、2代実施した。

調査開始~2000年2月上旬までの検体は、すべて陰性であった。ところが、2000年2月21日に採取した、県内の1養豚場から出荷された4頭のうち3頭から、インフルエンザウイルス様のCPEを呈する「HA agent」(以下「豚分離株」)を検出した。豚分離株は、3株ともに「ディレクティジェンFluA」陽性であり、電子顕微鏡像では、ヒト由来のインフルエンザウイルスと同様に、スパイクを周囲に持つ粒子が観察された。また、モルモットおよびニワトリ赤血球凝集能を有していた(我々が、1999/2000シーズンにヒトから分離したA(H1N1)ウイルスはニワトリ赤血球凝集能を保持している株と異なる株が混在していた)。しかし豚分離株は、近年のヒト型A(H1N1)およびA(H3N2)ウイルスに対する抗血清には全く反応しなかった。

豚分離株を国立感染症研究所呼吸器系ウイルス室へ送付して、同定を依頼したところ、A/Swine/Iowa/15/30に対する抗血清に反応した、との連絡を受けた。現在、同室にてさらに詳細な分析を実施中である。

埼玉県衛生研究所 島田慎一 篠原美千代 内田和江 瀬川由加里
埼玉県中央食肉衛生検査センター 大塚孝康 門脇奈津子

(病原微生物検出情報6月号-IASR vol.21 No.6, 2000-掲載記事より)



海外感染症情報

コレラ流行 - ミクロネシア連邦

WHO/CSR 2000年7月6日

ポンペイ島の公衆衛生当局が今回のコレラの流行を初めて報告したのが4月17日であった。6月26日時点で、ポンペイ病院と地域の診療所での入院および外来患者からの情報に基づいて患者954名および死亡9名が、WHOに報告された。患者検体からは、*Vibrio cholerae*小川型が分離された。予防及び抑制対策が実施されている。

拡大し続ける世界的なHIV流行

Eurosurveillance Weekly 2000年7月6日

Joint United Nations Programme on HIV/AIDS(UNAIDS)の最新報告によると、1999年末の1年間に世界中で500万人以上がHIVに感染した。また、1999年の時点では3,430万人がHIV/AIDSに罹患しており、そのうち2,450万人がアフリカのサブサハラ地域に住んでいると推定されている。サブサハラ地域の16カ国では、現在若者(15歳から24歳)の10%以上がHIV/AIDSに罹患していると報告されている。アフリカ大陸でのHIV/AIDSの流行の中心は南部と南東部であり、そこでは現在成人の5人に1人がHIV感染症に罹患している。

アフリカでのHIV感染症は主に異性間の性的接触で広がり、それに加えて多くの子供が垂直感染している。周産期にHIVに感染した全乳児の90%以上は、サブサハラ地域で生まれている。

アジアでのHIV感染症の一般の有病率は低いままであるが、人口の多いインドでは、1999年末の時点では青年の有病率は0.7%であってもHIVに感染している人口は370万人になる。インド北東部の一部では、注射による薬物使用(injecting drug use; IDU)と異性間性的接触による感染が広く蔓延しており、有病率はインド全体の平均値より非常に高い。

ウクライナでのHIV感染症の蔓延は主にIDUと関連しており、現在、成人のほぼ1%が感染している。ロシア連邦でも1999年にIDUによるHIV感染の急激な増加がみられた。

裕福な国では、HIV感染の有病率は増加しているが、抗レトロウイルス薬物治療が増加し、AIDSによる死亡は減少している。

HIV関連疾患は若くて経済的活動の活発な年齢層に最も大きな影響を与え続けている。このため、多くの開発途上国の経済成長にますます影響を及ぼし、平均余命の減少と人口統計学的変化を引き起こし、その影響は数世代にわたって持続する。



感染症の話

(注) 今週の感染症の話は編集の都合上、前号と同じものを掲載しました。-IDWR編集委員長-

HPS (Hantavirus Pulmonary Syndrome, ハンタウイルス肺症候群)

ハンタウイルスによる感染症が日本で注目されたのは1970年代半ばから各地の医学系動物実験施設においてラット取扱業者の間に不明熱の患者が相次いで発生した時で、当時は病因が不明であった(1984年まで発生が続き、合計127例、うち1例死亡)。それに先立ち1960年代、大阪梅田の居住環境の悪い地区において、不明熱の発生が報告されていた(119例うち2例死亡)。さらに先の大戦前に、中国とソ連邦の国境を流れるアムール川の流域で流行があり、また旧日本軍が中国東北部に進駐した際に不明熱に遭遇し、「流行性出血熱」として報告された。その後、朝鮮戦争のときに国連軍のあいだに約3,200例の不明熱が報告され、大いに注目された。韓国高麗大学の李らが、1976年に流行地のアカネズミ (*Apodemus*) から病因ウイルスを初めて分離し、アカネズミを捕獲した場所の川の名をとって、ハンタン(Hantaan)ウイルスと命名した。上にあげた疾病はハンタンウイルスの仲間起因するもので、腎症候を伴う出血熱をおこすので腎症候性出血熱(HFRS, Hemorrhagic fever with renal syndrome)と統一して呼ぶこととなった。我が国では、1982年に感染研と北大獣医学部により札幌医科大学のラットから原因ウイルスが国内で初めて分離された。その後の研究の進展に伴い、プニヤウイルス科の5番目の新しい属としてハンタ(hanta)ウイルス属と命名されたのである。米国においてはガイデコセックらによりハタネズミ (*Microtus*) のあいだにウイルスが保有されていることが示されたが、動物学者などに抗体保有は認められたもののヒトに対する病原性は不明であったため、あまり問題視されていなかった。ところが1993年、米国南西部で肺水腫を伴う急性の呼吸困難による死亡がナバホインディアンのあいだで複数報告された。腎症候を伴わず、急性の呼吸器症状を示し約50%が死亡するという疾病が出現したが、これがはじめて問題化したHPSの発生であった。その後、1995年から、南米からもHPS発生の報告が続々とでている。

疫学

プニヤウイルス科のウイルスの多くのものは節足動物媒介性であるが(クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、ダニ媒介)、ハンタウイルスはネズミ媒介性であるのが特徴的である。多くは、新鮮な糞または乾燥した糞、尿中からエアロゾルとしてウイルスを吸い込むことにより感染する。ネズミの咬傷やネズミに触れたものを介して鼻、目または口を触れることでもおこる。

HFRSを起こすハンタウイルスはユーラシア大陸に広く分布している。主要なものは朝鮮半島、中国の北部から中部及び極東ロシアにみられるセスジアアカネズミ (*Apodemus agrarius*) を宿主とするハンタンウイルスである。中国ではおおよそ年間数万人、ロシアでは数千人、韓国で数百人の規模での患者がでている。広く世界的にドブネズミ (*Rattus norvegicus*) に保有されているのはソウル(Seoul)ウイルスであり、日本では1984年の実験室感染患者の後ではでない。我が国の港湾地区のドブネズミは今日においてもウイルスを保有している。それによる患者発生の報告はでないが注意する必要がある。

当初問題となった米国南西部のHPSウイルスはシンノンブル(Sin Nombre)ウイルスで、これを保有するネズミはシカ(ディア)マウス、(*Peromyscus maniculatus*)である。このネズミは北米大陸

に広く分布しているポピュラーな種で、生息数も多い。人家には入りやすい性質がある。他にコットンラット等、かなりのネズミ種のあいだに保有されている(表1)。

米国のHPSは、1993年から1997年6月までに28州で164例報告された。米国南西部のフォーコーナー(4州が接するのは唯一これらの州のみ)の州ではニューメキシコ29例、アリゾナ22例、コロラド11例、ユタ10例であった。平均年齢は36歳、男性が99例、121例が白人、38例がアメリカインディアンであった。致死率47%と極めて高い死亡数であった。



シカ(ディア)マウス、(*Peromyscus maniculatus*)
National Audubon Society, Field Guide to North American Mammals

表1 主要なハンタウイルス
分布、宿主ローデント、ヒトの病気との関係

ウイルス	分 布	主 要 宿 主	ヒトの病気
Hantaan	アジア、ロシア	<i>Apodemus agrarius</i> (アカネズミ)	重篤なHFRS
Seoul	世界的	<i>Rattus norvegicus</i> (ドブネズミ)	軽・中等度のHFRS
Dobrava/Belgrade	バルカン	<i>Apodemus flavicollis</i> (アカネズミ)	重篤なHFRS
Puumala	スカンジナビア、 ヨーロッパロシア、バルカン	<i>Clethrionomys glareolus</i> (ヤチネズミ)	軽症のHFRS
Prospect Hill	北米	<i>Microtus pennsylvanicus</i> (ハタネズミ)	不明
Sin Nombre	北米	<i>Peromyscus maniculatus</i> (シカマウス)	HPS
Black Creek Canal	米国南東部 (フロリダ)	<i>Sigmodon hispidus</i> (コットンラット)	HPS
New York - 1	米国東部	<i>Peromyscus leucopus</i> (シロアシマウス)	HPS
El Moro Canyon	米国西部	<i>Reithrodontomys megalotis</i>	不明
Bayou	ルイジアナ	<i>Oryzomys palustris</i> (ライスラット)	HPS
Andes	アルゼンチン・チリ	<i>Oligoryzomys longicaudatus</i> (ロングテールマウス)	HPS
Laguna Negra	パラグアイ・ボリビア	<i>Calomys laucha</i> (ベスパーマウス)	HPS
Rio Mamore	ボリビア	<i>Oligoryzomys microtis</i> (ビグミーライスラット)	不明
HTN - 007	ペルー	<i>Oligoryzomys microtis</i> (ビグミーライスラット)	不明

1993年から2000年3月までの累積では238例で、平均年齢は37歳、男性が144例、183例が白人、49例がアメリカインディアンで、致死率42%であった。回顧的調査から少なくとも1959年にはすでに発生していたと考えられる。

カナダではアルバータを主として、西部で多く発生している。1994年から1999年に32例があり、うち12例(38%)死亡した。平均年齢は39歳、男性が19例(60%)である。1995年に、南米アルゼンチンで29例のHPSが報告された。1996年の春には18例の報告があった。病原性はシンノンブルウイルスと同様に強かった。シンノンブルウイルスとはウイルス学的な違いがあり、アンデスウイルスと呼ぶようになった。チリのウイルスもアンデスウイルスである。他に、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ボリビアおよび中米パナマで報告されている。これまでに少なくとも、アルゼンチン191例、ウルグアイ15例、チリ70例、パラグアイ34例、ブラジル12例の報告がある。

HFRSや北米のHPSのハンタウイルス感染症ではヒトからヒトへの感染が起こらないと考えられている。ところが1996年9月の南部アルゼンチンのケースでは住民と訪問者18例と、患者と関わったが当地を訪れていない12例のHPSが発生し、死亡率は50%であった。ネズミとの接触が考えられず、患者と関わったケースでヒトからヒトへの感染が起こった例である。ウイルス学的証拠も示され重要な問題となったがその後、終息し再発生は起こっていないが、今後引き続き注意を要する点である。

病原体

ブニヤウイルス科ハンタウイルス属のウイルスによる。RNAウイルスでマイナスの1本鎖で3分節である。80-120nmの球形粒子でエンベロープを有する。

ウイルスは宿主との関係が強く、同一種のネズミに特定のウイルスが保持されている。米国南西部のシカネズミによるHPSウイルスは当初フォーコーナーウイルスあるいはムエルトキャニオンウイルスと呼ばれたが、すぐにシンノンブルウイルスと呼ぶこととなった。コットンラットによるHPSウイルスはブラッククリークチャンネルウイルスである。アルゼンチンのライスラットによるHPSウイルスはアンデスウイルスと呼ばれる(表1)。

臨床症状

頻呼吸、頻脈、下背部疼痛、肺の両側性間質性の浸潤による呼吸困難が特徴的である。始めの症状は風邪の症状に似ており、咳や38度から40度の発熱がある。症状は急速に進行し呼吸困難となる。入院時に見られる臨床症状として発熱、筋痛、悪寒がほぼみられ、嘔気・嘔吐、下痢および倦怠がよくみられ、他に短呼吸、めまい、関節痛、背痛、胸痛、腹痛、発汗および咳そうがみられ、まれに鼻漏、咽喉痛がある。潜伏期は一般的には2週間である。

病原診断

HPSウイルスに対するIgM、IgG抗体を酵素抗体法、間接蛍光抗体法により測定する。組織免疫化学的手法を用いて、組織中に存在するウイルス抗原を検出する。RT-PCRにより遺伝子断片の遺伝子配列を調べる。ネズミの捕獲、サンプリングはエアロゾル対策を立て実施する。病原体の取扱いはバイオセーフティレベル(BSL)3または4となる。

診断にあたっては、ネズミとの接触があったかどうかを必ず聞く。

治療・予防

HPS患者の治療には早期の集中治療が必須で、早期の換気が必要である。ICU搬送中などにおいては酸素低下を防がなければならない。酸素飽和、体液バランスおよび血圧を注意深くモニターする必要がある。

ウイルスの自然宿主はネズミであるので、ネズミとの接触を断つことが予防上のポイントとなる。多くは、新鮮な糞または乾燥した糞、尿または唾液を吸い込むことにより感染する。ネズミの咬傷やネズミに触れたものを介して鼻、目または口を触れることでも感染はおこる。したがって、尿や糞で汚染されたほこりや食物をさける。食べ物の保管には蓋をする。家及び周囲を清潔にしネズミの巣をつくらせないようにする。しばらく使わないでネズミに汚染された小屋等の掃除には注意を要する。キャンプ等のアウトドアの活動ではネズミ対策を考える。なお本ウイルスはヒト、昆虫、ペットまたは家畜を介しては伝播することはない。

日本にはシカネズミの仲間は生息していない。ラットを宿主とするソウルウイルスは海外から日本へ持ちこまれたと考えられている。同様にHPSウイルスについても持ちこまれる可能性は否定できないが極めて低いと思われる。しかしながら、HPSウイルス感染症も念頭におくべきである。南北アメリカ大陸の発生地域に出かける場合はHPSについての現地の情報をチェックし、特にネズミとの接触について十分に注意する必要がある。パナマの発生においてはカーニバルを中止する措置がとられ、ネズミへの接触をさけるよう注意を促した。

発生動向調査について

報告のあった米国、カナダ等の地域で現在でもひき続き発生がみられる。本年2月中旬になって中米パナマで新たに発生しており、9例中3例が死亡している。終息に向かっているがまだ発生がある。しかしながら、南北アメリカ大陸以外では依然として報告がない。

米国では本年も発生があり、1993年から本年5月までの累積は、ニューメキシコ41例、アリゾナ27例、コロラド18例、ユタ12例をはじめカリフォルニア26例、ワシントン21例など31州で250例となっている。これら発生状況は前述の1997年6月までの内容とほぼ同じであった。

感染症新法の中でのハンタウイルス肺症候群の取扱い

ハンタウイルス肺症候群は第4類の全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

当該疾患を疑う症状や所見があり、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの。

- ・病原体の検出
例：急性期の血液、尿からのウイルスの分離など
- ・病原体の遺伝子の検出
例：PCR法など
- ・病原体に対する抗体の検出
例：血清抗体の検出(ELISA、免疫蛍光法) など

(国立感染症研究所バイオセーフティ管理室 杉山和良)



読者のコーナー

長野県Oさんより

感染症発生動向調査に基づく平成11年度の届け出総数を教えてください。

昨年度の全数把握対象感染症報告数について

平成11年4月～平成12年3月までの全数把握対象の感染症報告数は以下の通りです。

平成12年6月1日での集計で、今後変更になる可能性もありますので暫定データとして理解いただければ幸いです。また、診断日が平成12年3月31日までのものを平成11年度と分類しております。

1類感染症		報告なし
2類感染症	急性灰白髄炎	報告なし
	細菌性赤痢	769
	コレラ	43
	ジフテリア	1
	腸チフス	81
	パラチフス	25
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3,084
4類感染症	アメーバ赤痢	349
	エキノコックス	11
	オウム病	26
	急性ウイルス性肝炎	1,756
	Q熱	14
	クリプトスポリジウム症	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	117
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	37
	後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	769
	ジアルジア症	61
	髄膜炎菌性髄膜炎	17
	ツツガムシ病	603
	デング熱	6
	日本紅斑熱	39
	日本脳炎	5
	梅毒	949
	破傷風	76
	VRE	29
	マラリア	140
	ライム病	14
レジオネラ症	89	

黄熱、回帰熱、狂犬病、コクシジオイデス症、腎症候性出血熱、先天性風疹症候群、炭疽、乳児ボツリヌス、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、ブルセラ症、発疹チフスについては、平成11年度は報告がありませんでした。

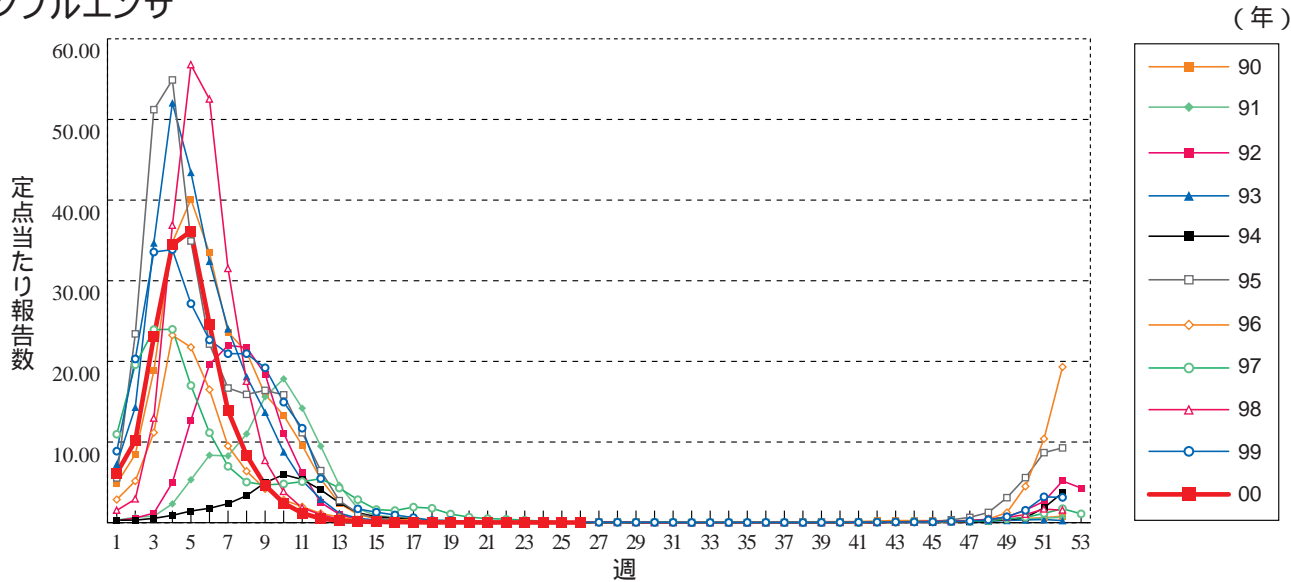
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。

ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

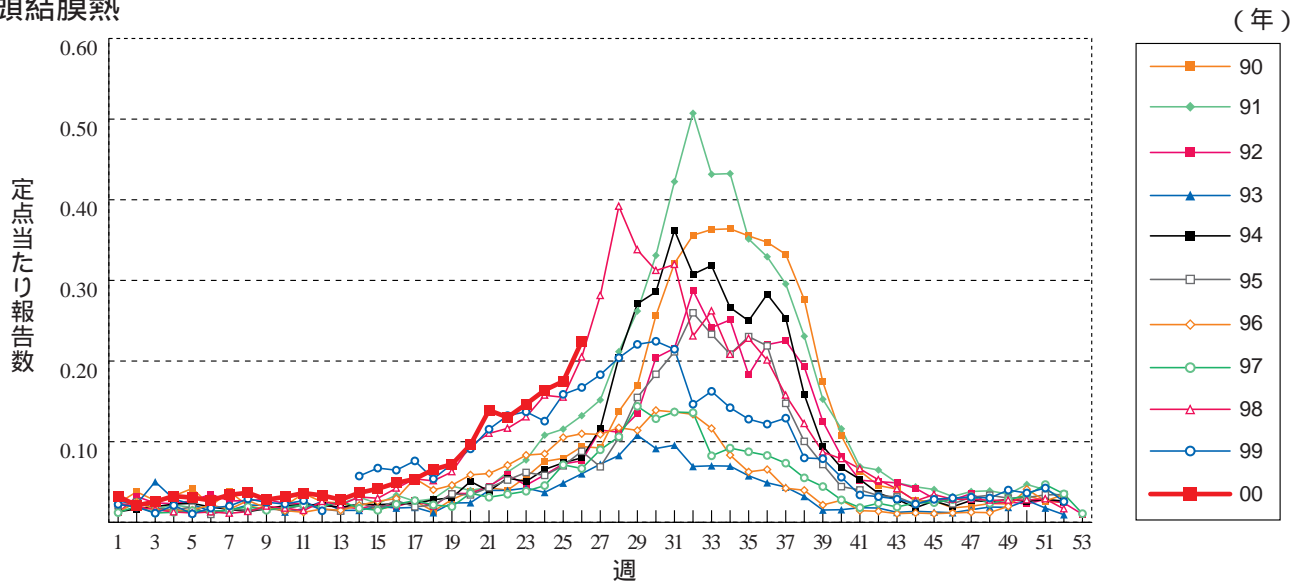
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(26週)

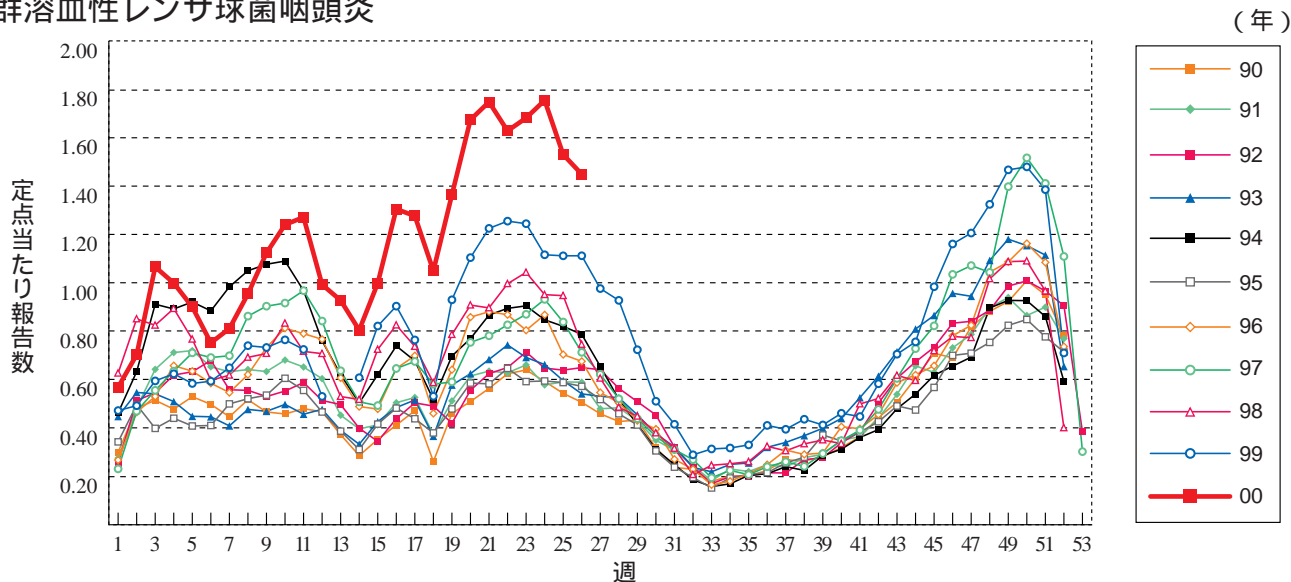
インフルエンザ



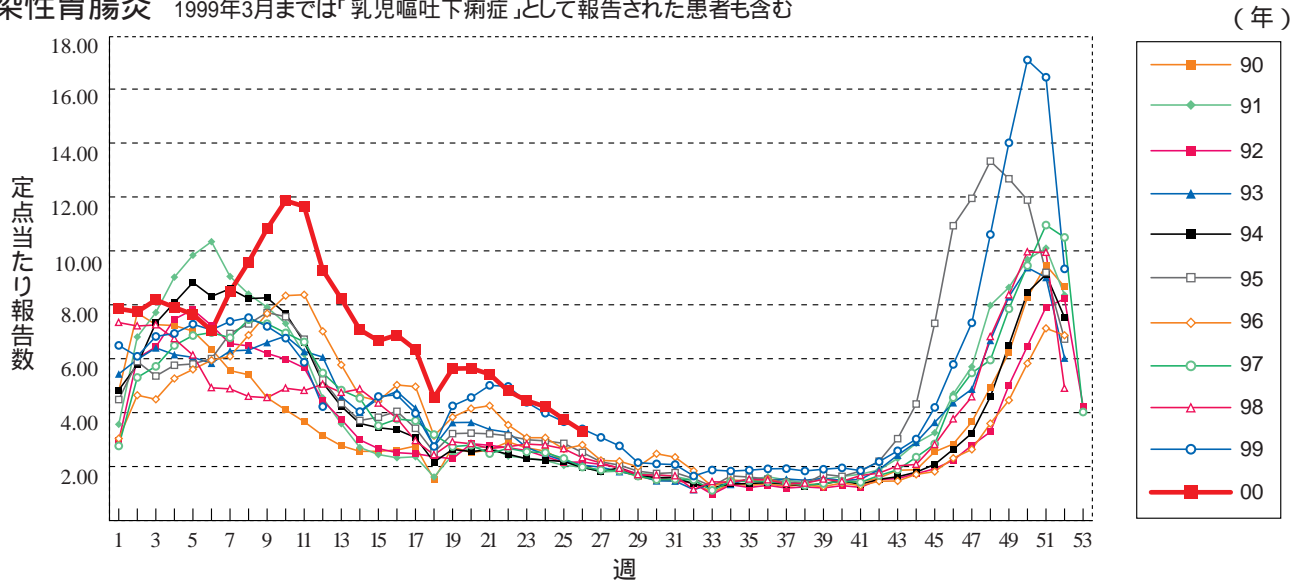
咽頭結膜熱



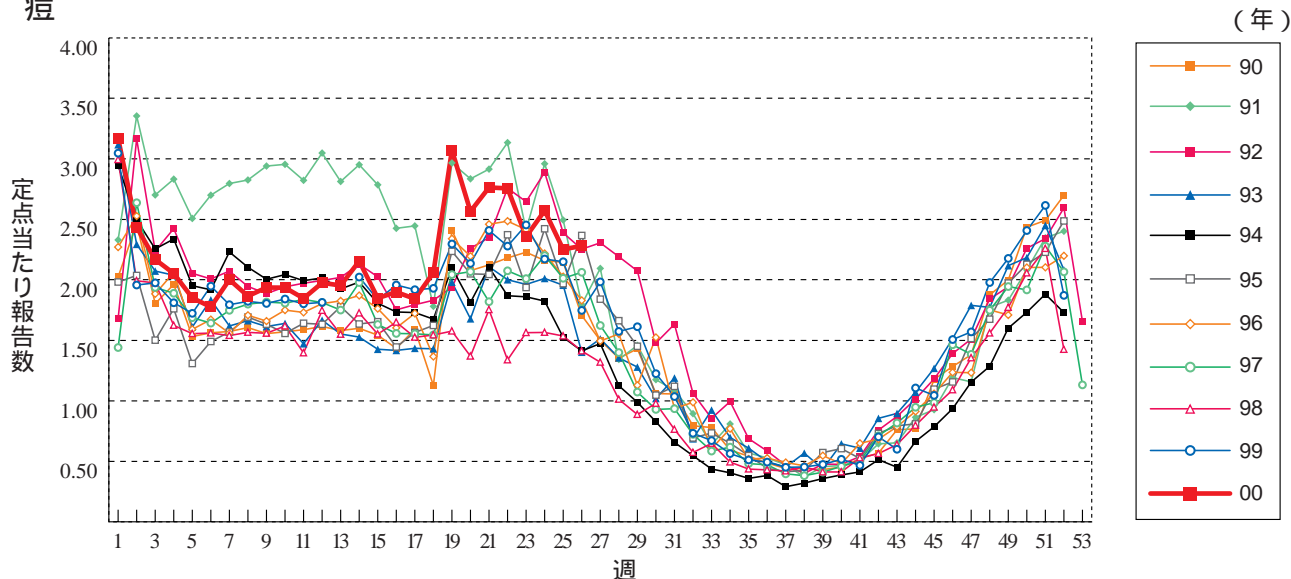
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



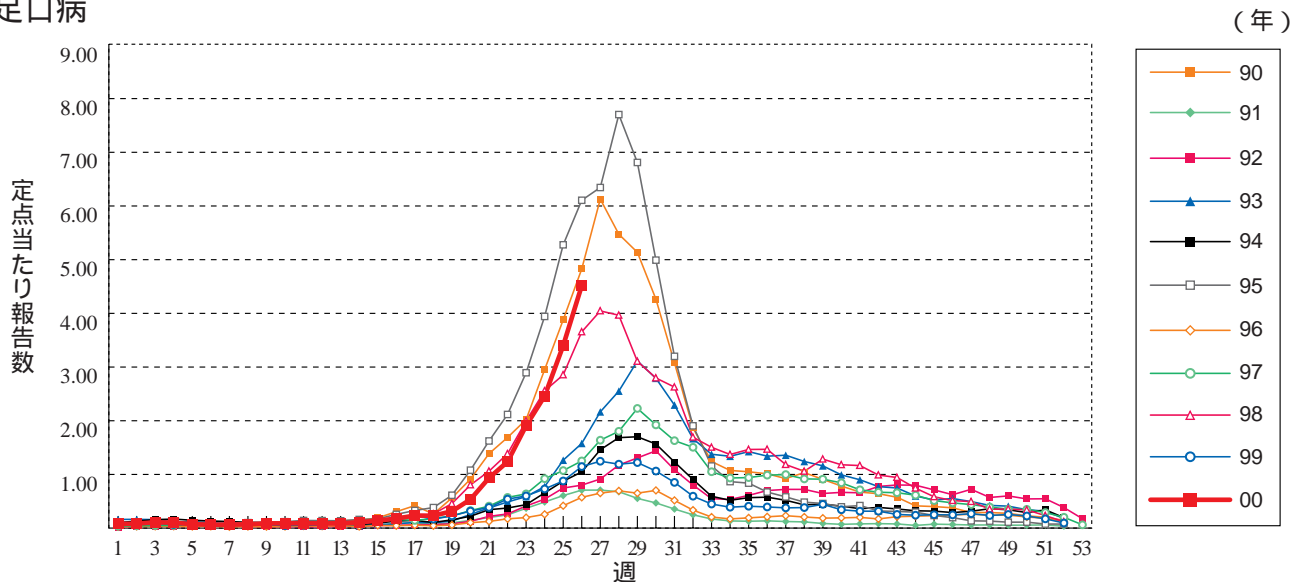
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



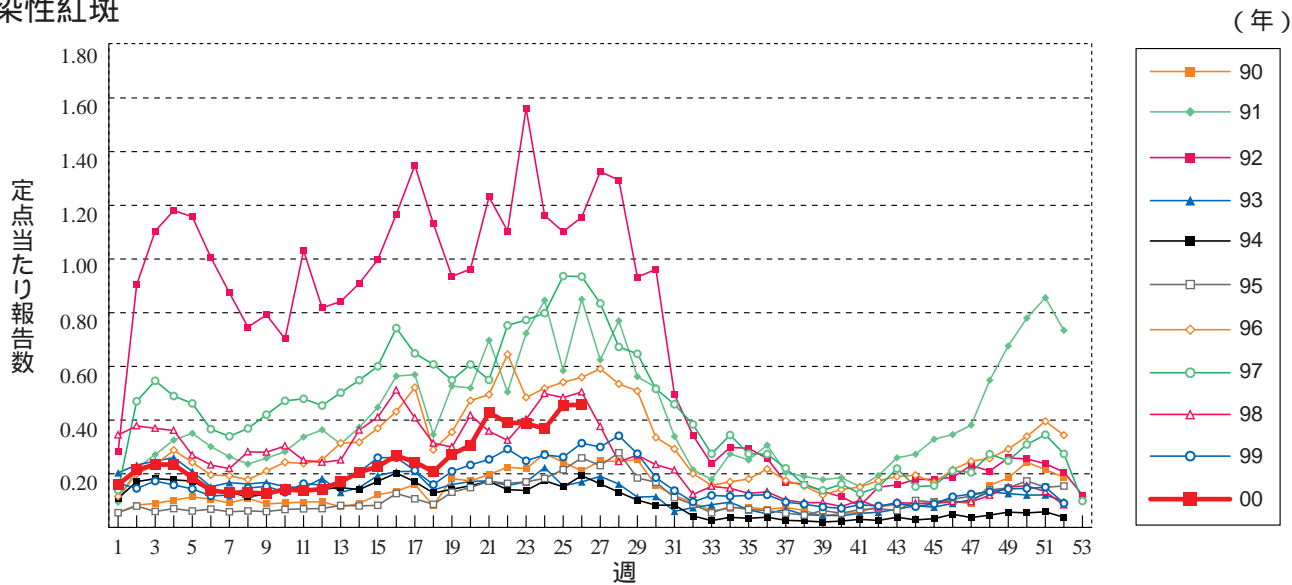
水痘



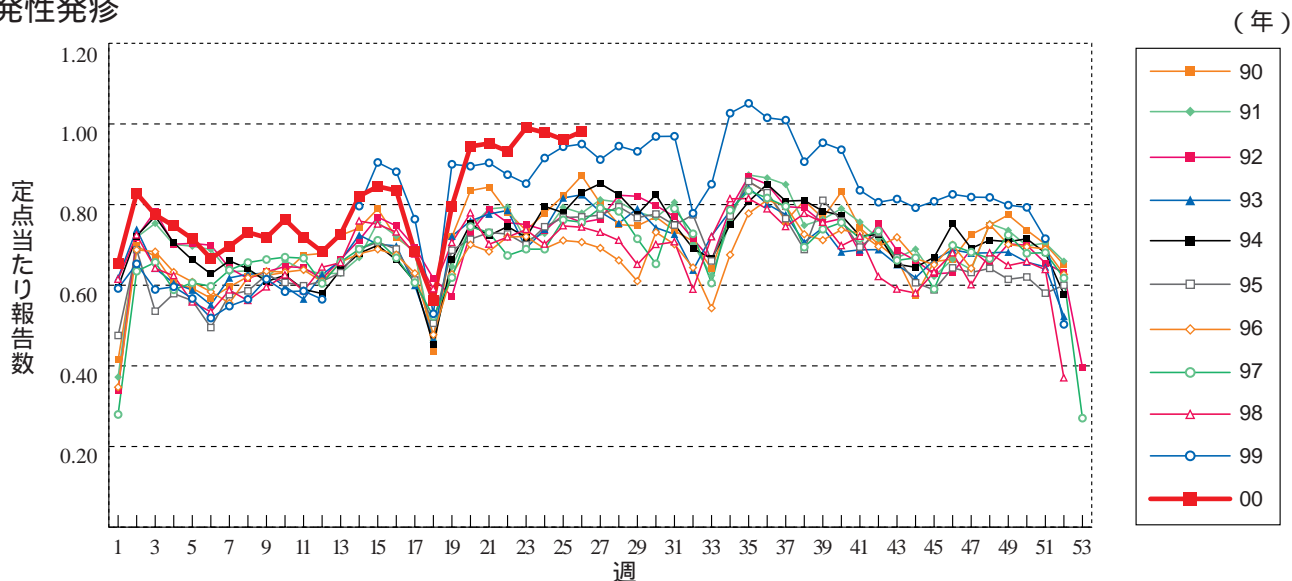
手足口病



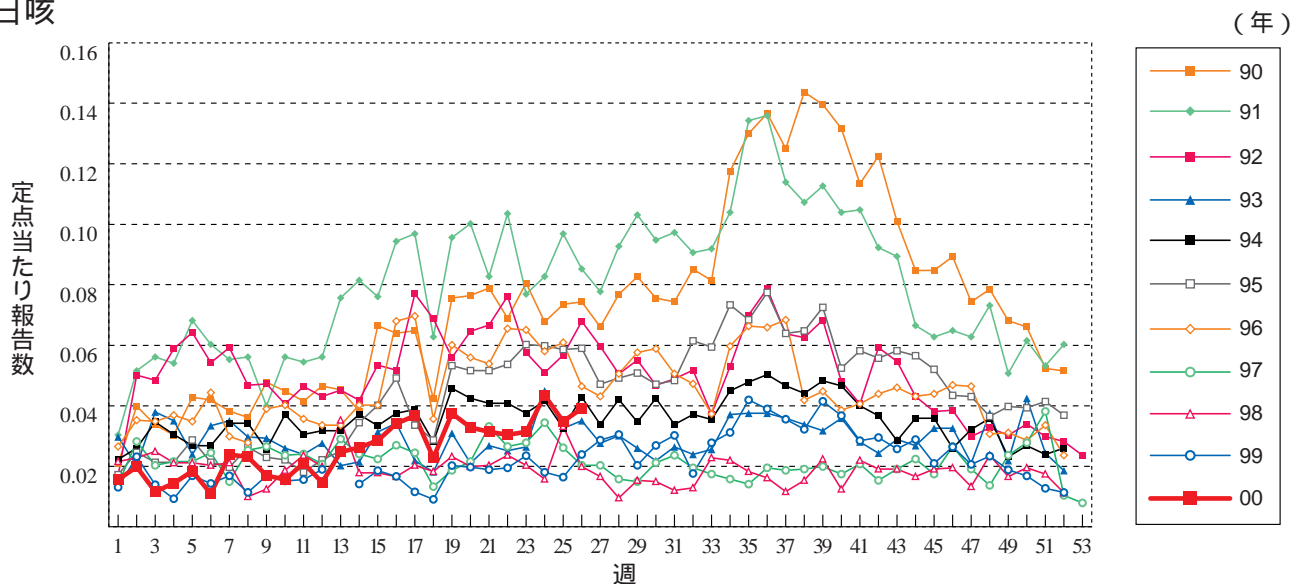
伝染性紅斑



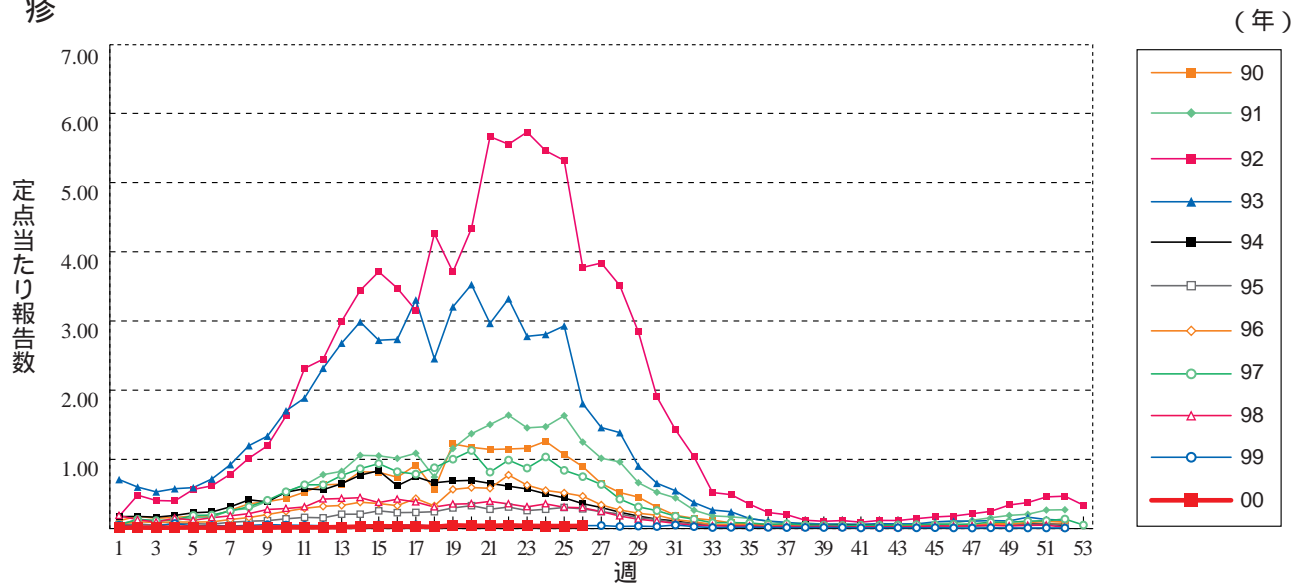
突発性発疹



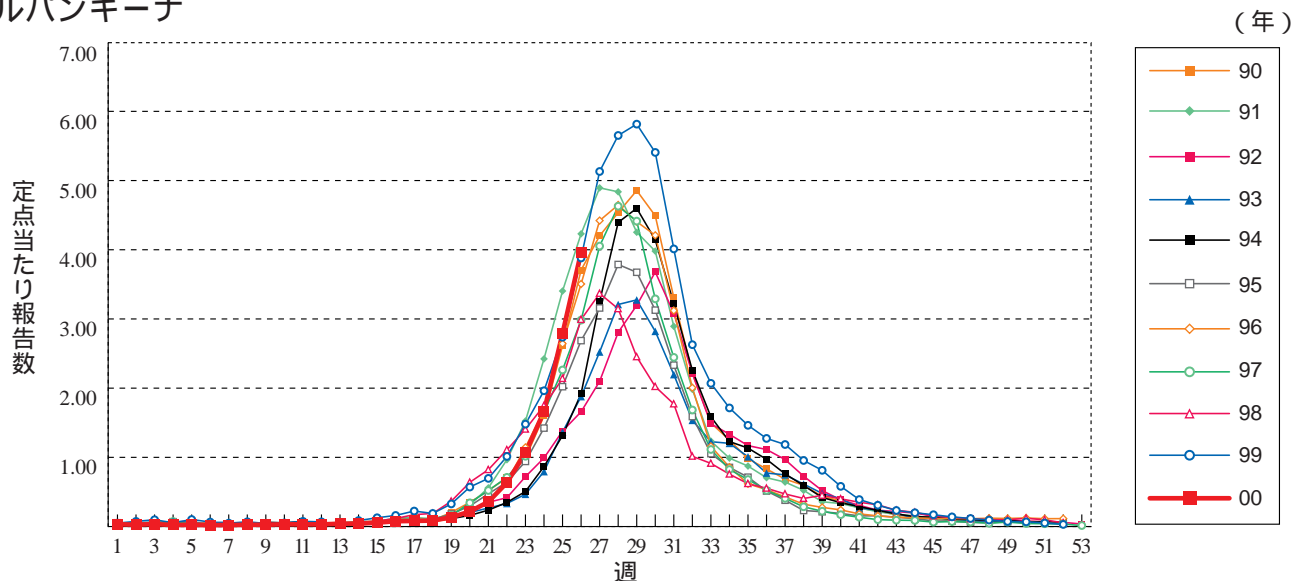
百日咳



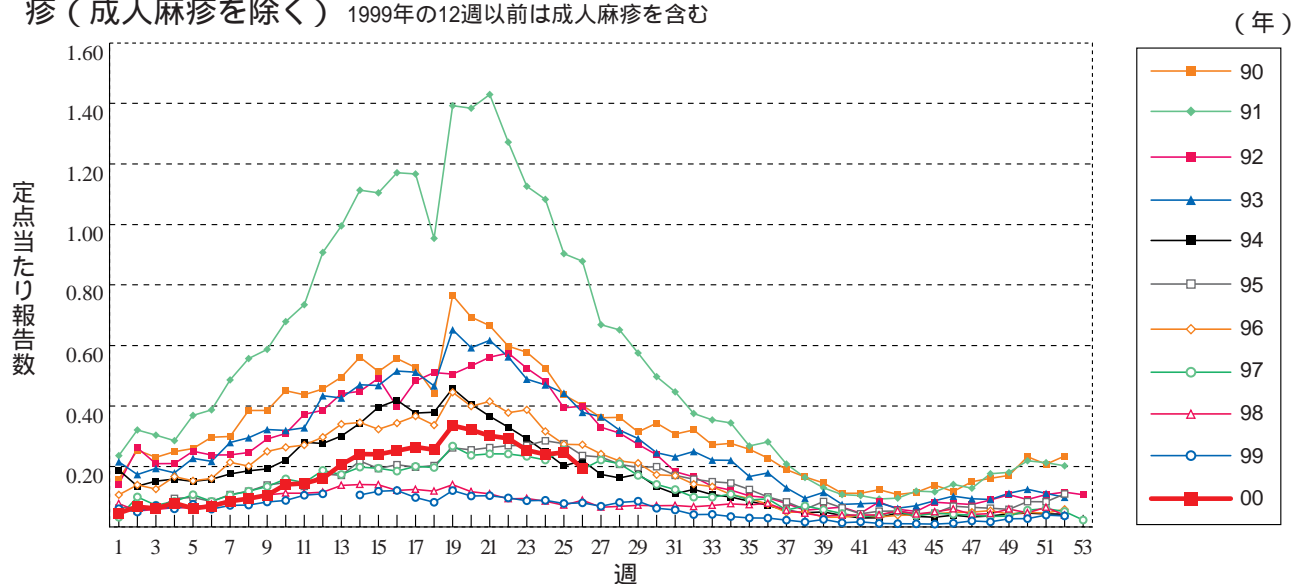
風 疹



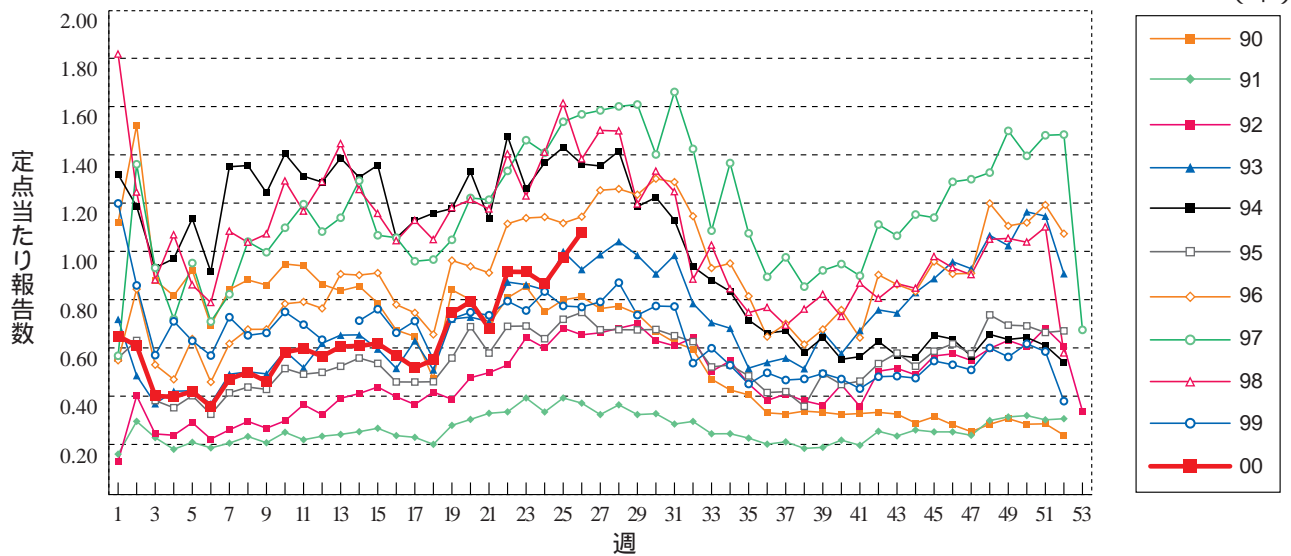
ヘルパンギーナ



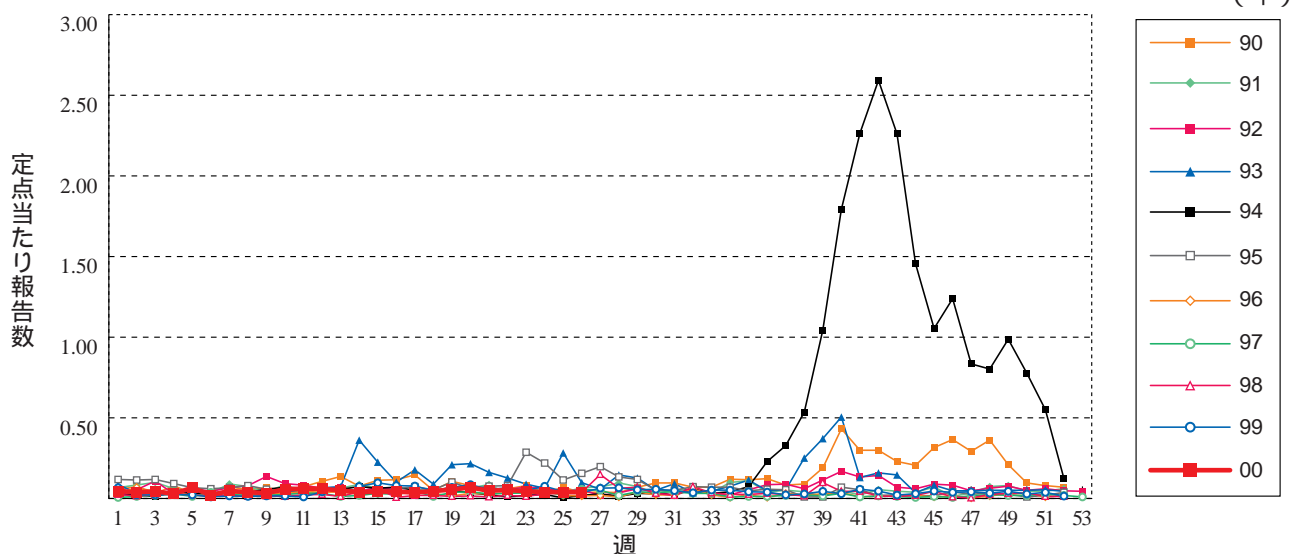
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



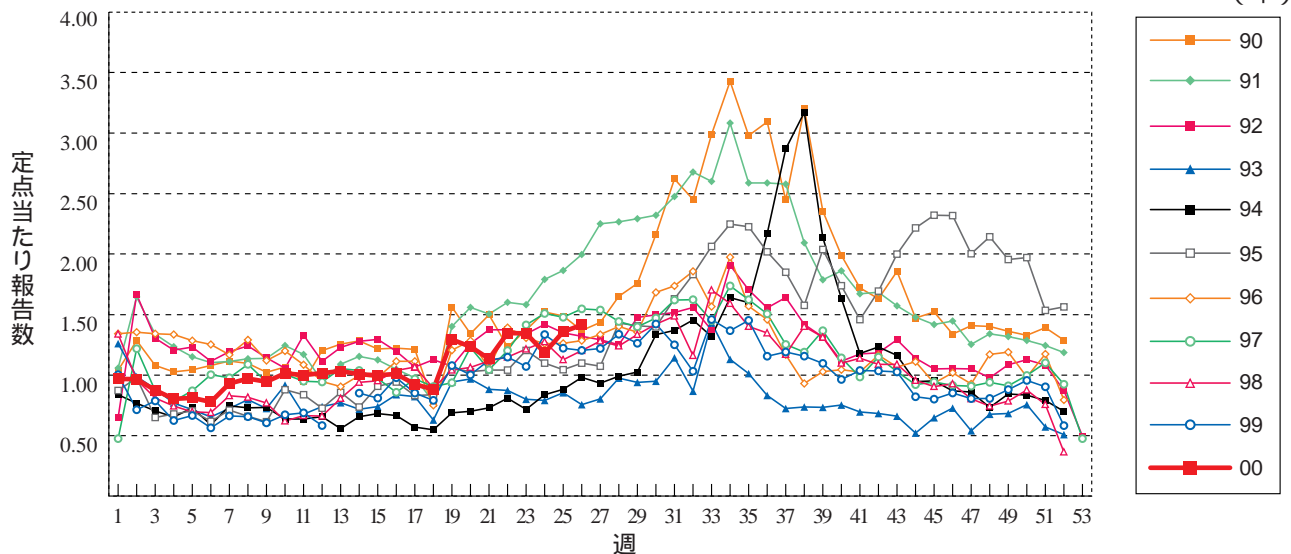
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

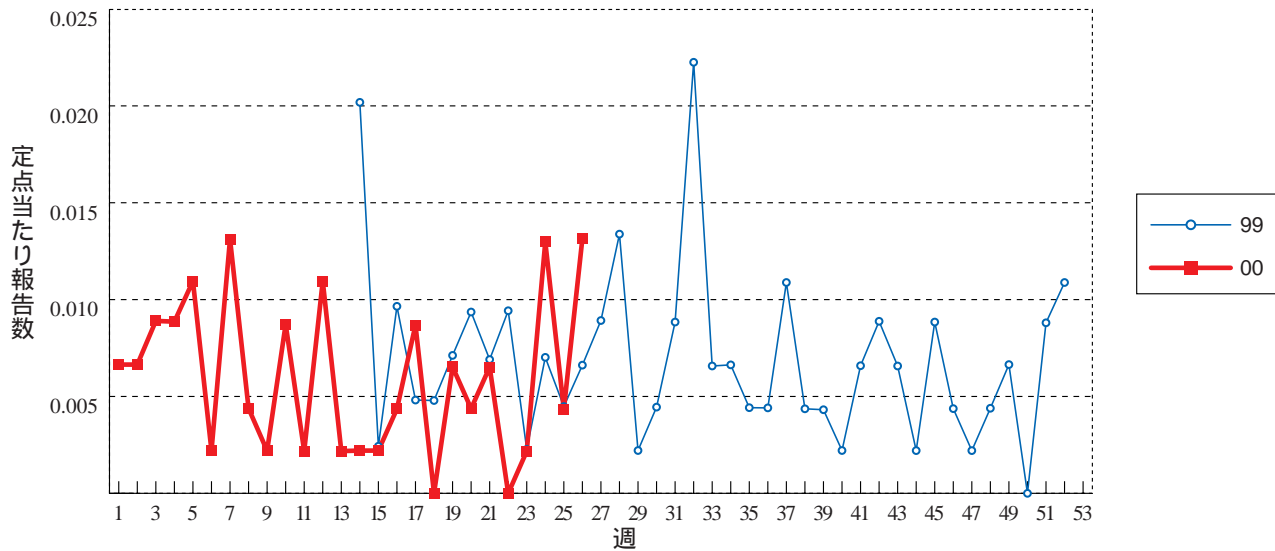


流行性角結膜炎



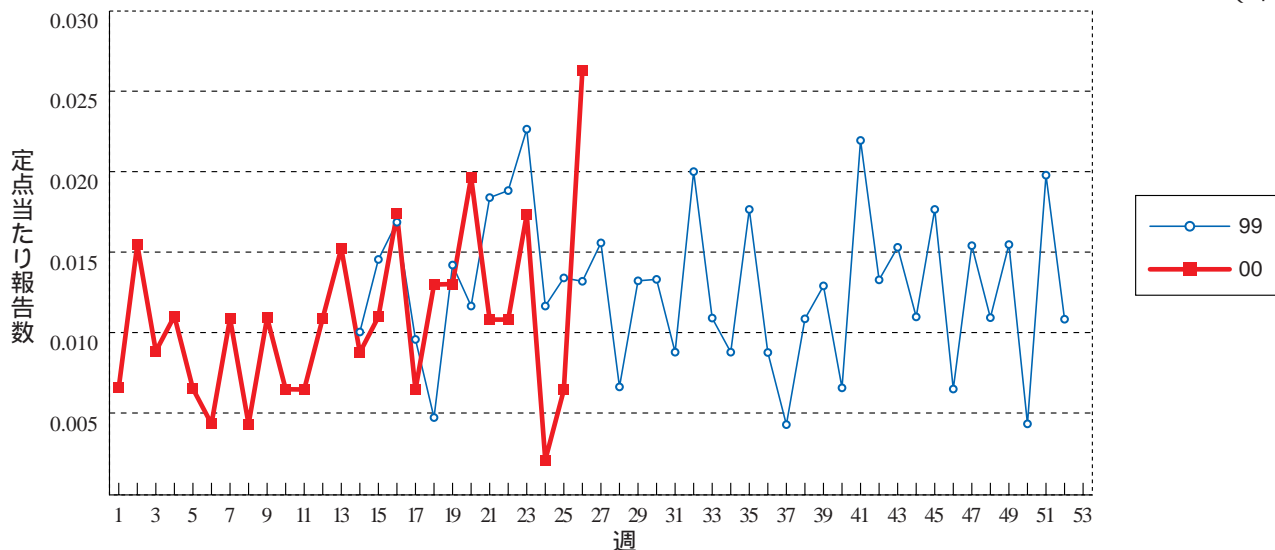
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



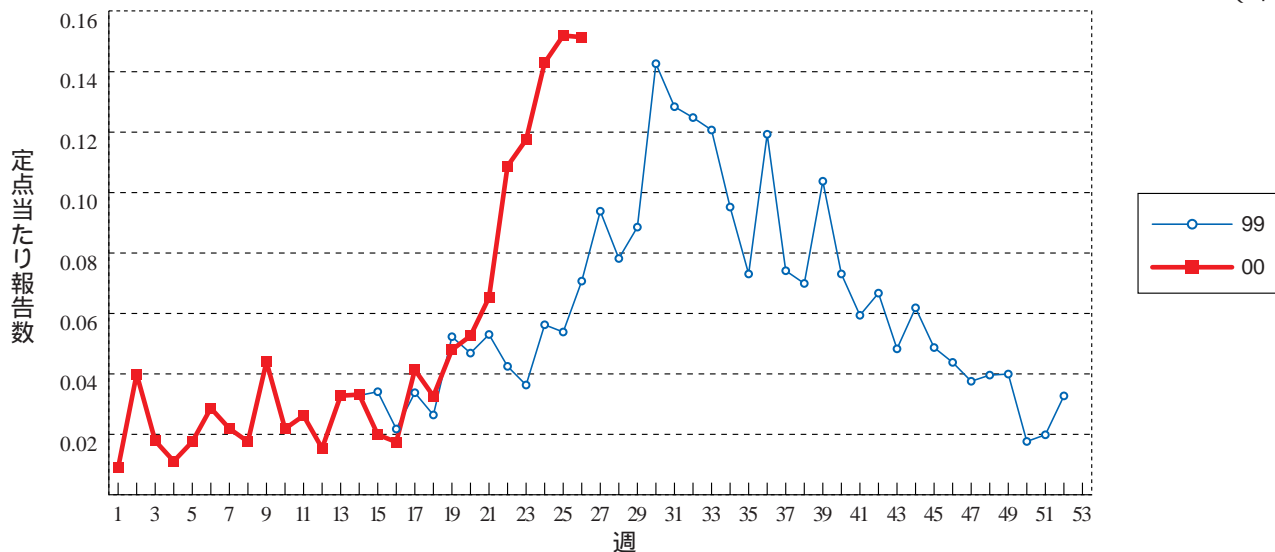
細菌性髄膜炎

(年)



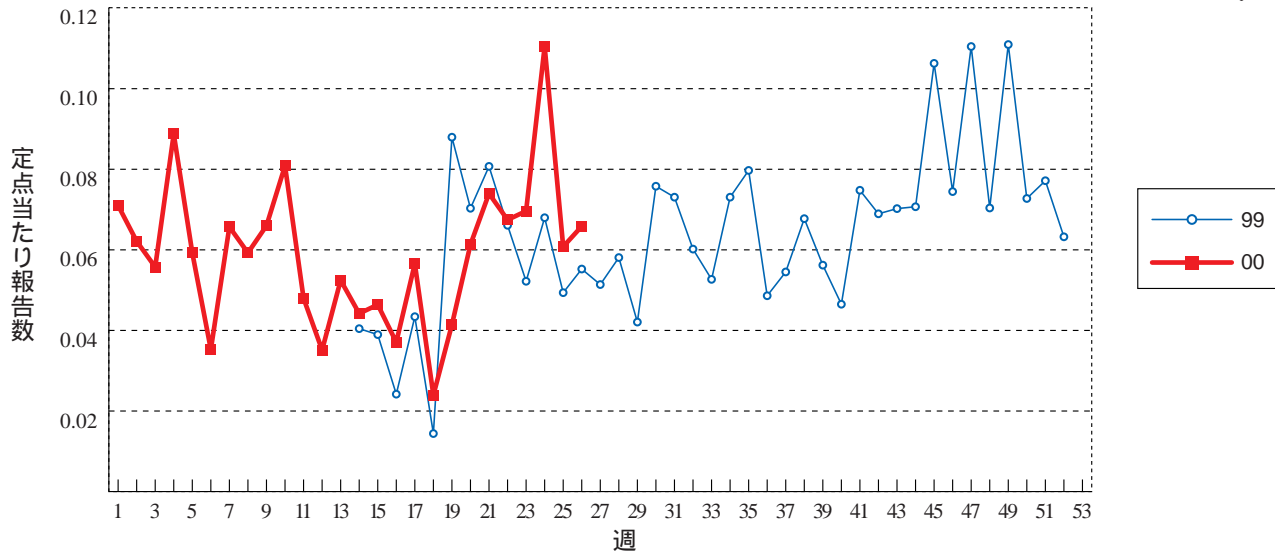
無菌性髄膜炎

(年)



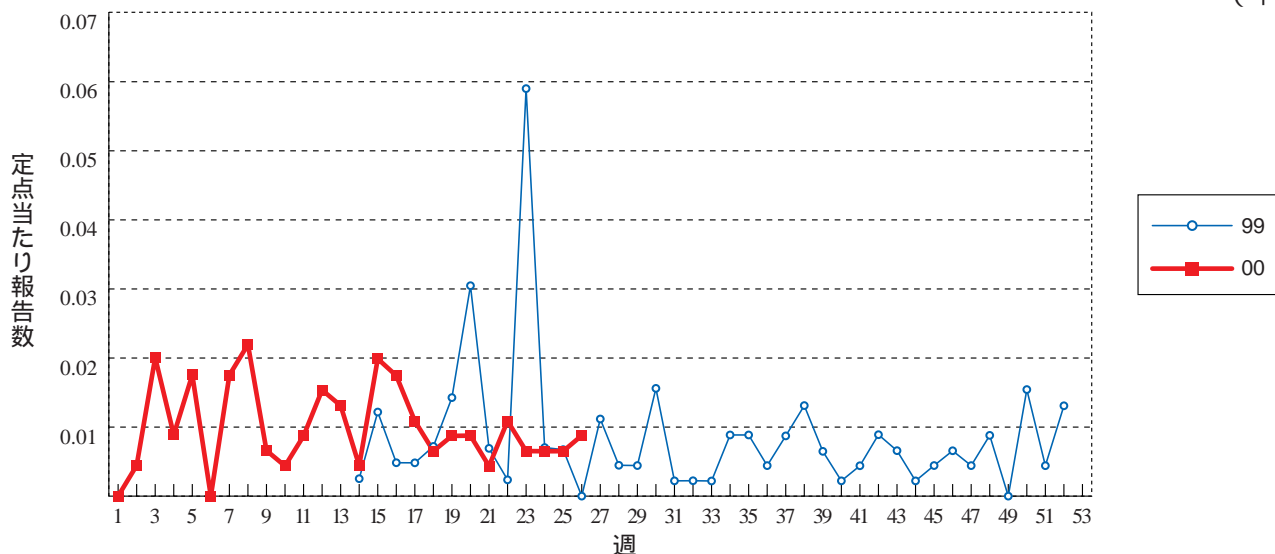
マイコプラズマ肺炎

(年)



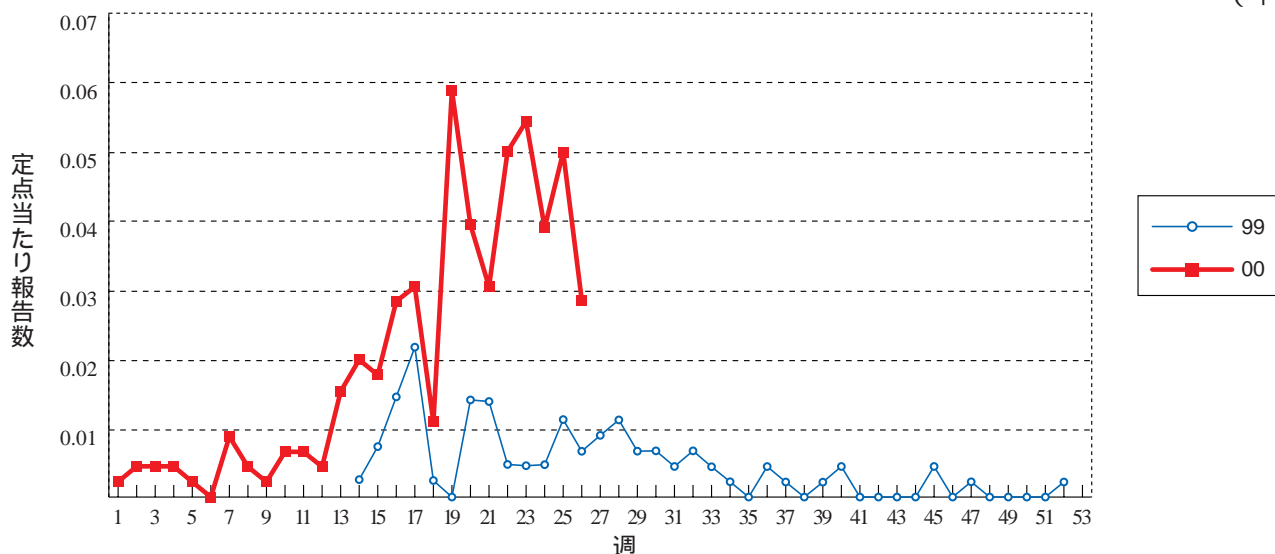
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





26週のデータ

注)表中の報告数は7月7日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年26週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	15	362	4	57	-	7	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	14	-	2	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	71	1	9	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	24	-	4	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	29	-	4	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	13	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	35	1	6	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	7	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	2	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	15	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年26週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	110	828	5	172	1	9	-	-	-	9	-	-	6	532
北海道	-	-	-	-	-	25	-	2	1	8	-	-	-	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	4	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
秋田県	-	-	-	-	3	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	4	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
埼玉県	-	-	-	-	8	24	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
千葉県	-	-	-	-	4	25	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	1	9
東京都	-	-	-	-	10	70	3	52	-	-	-	-	-	2	-	-	1	61
神奈川県	-	-	-	-	5	48	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16
新潟県	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
石川県	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
福井県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
長野県	-	-	-	-	3	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
静岡県	-	-	-	-	-	11	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
愛知県	-	-	-	-	4	48	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
三重県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
京都府	-	-	-	-	1	17	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
大阪府	-	-	-	-	11	67	2	33	-	-	-	-	-	1	-	-	2	59
兵庫県	-	-	-	-	3	48	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	1	60
奈良県	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
和歌山県	-	-	-	-	3	24	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	3	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	8	23	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	19
広島県	-	-	-	-	11	31	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
山口県	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
香川県	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
愛媛県	-	-	-	-	3	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
高知県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福岡県	-	-	-	-	6	59	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
佐賀県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	2	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大分県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	1	-	-	3	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
鹿児島県	-	-	-	-	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
沖縄県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年26週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	2	-	46	1	28	5	341	-	1	-	50	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	24	-	-	-	1	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	11	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	19	-	-	-	4	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	3	-	23	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	5	-	2	2	132	-	1	-	7	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	24	-	-	-	6	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	2	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	9	-	-	-	2	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	18	-	-	-	6	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	3	1	2	-	7	-	-	-	6	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年26週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	1	1	-	-	3	192	1	5	-	8	-	-	-	-	4	370
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-	-	-	-	11
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	55
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大阪府	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	73
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-	1	22
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年26週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	36	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	90	-	5	3	78	
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	
千葉県	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	
東京都	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	-	-	5	
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	1	
兵庫県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
福岡県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

第3102表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別

平成12年26週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	77	0.02	665	0.22	4296	1.45	9872	3.33	6764	2.28	13367	4.51	1352	0.46	2909	0.98	116	0.04
北海道	-	-	16	0.11	175	1.21	299	2.06	427	2.94	353	2.43	73	0.50	126	0.87	1	0.01
青森県	2	0.03	6	0.15	22	0.54	105	2.56	136	3.32	13	0.32	14	0.34	17	0.41	-	-
岩手県	3	0.05	3	0.08	39	1.03	62	1.63	79	2.08	3	0.08	36	0.95	34	0.89	3	0.08
宮城県	-	-	-	-	58	1.76	145	4.39	115	3.48	32	0.97	25	0.76	38	1.15	2	0.06
秋田県	2	0.04	6	0.17	49	1.40	165	4.71	87	2.49	7	0.20	14	0.40	23	0.66	-	-
山形県	1	0.02	2	0.07	76	2.62	98	3.38	75	2.59	321	11.07	42	1.45	30	1.03	1	0.03
福島県	-	-	14	0.29	51	1.06	180	3.75	102	2.13	25	0.52	24	0.50	53	1.10	3	0.06
茨城県	5	0.05	1	0.01	107	1.43	191	2.55	146	1.95	153	2.04	24	0.32	49	0.65	5	0.07
栃木県	-	-	1	0.02	80	1.78	86	1.91	73	1.62	351	7.80	6	0.13	47	1.04	1	0.02
群馬県	-	-	3	0.05	151	2.44	118	1.90	165	2.66	982	15.84	13	0.21	60	0.97	-	-
埼玉県	4	0.02	26	0.16	396	2.48	641	4.01	356	2.23	1126	7.04	124	0.78	152	0.95	3	0.02
千葉県	4	0.02	32	0.24	315	2.35	379	2.83	363	2.71	400	2.99	106	0.79	149	1.11	3	0.02
東京都	-	-	13	0.09	90	0.63	349	2.46	174	1.23	296	2.08	66	0.46	88	0.62	-	-
神奈川県	27	0.09	39	0.19	281	1.36	499	2.42	418	2.03	953	4.63	236	1.15	215	1.04	1	0.00
新潟県	-	-	6	0.10	167	2.78	199	3.32	240	4.00	100	1.67	44	0.73	64	1.07	4	0.07
富山県	-	-	-	-	46	1.59	119	4.10	64	2.21	29	1.00	4	0.14	27	0.93	1	0.03
石川県	-	-	6	0.21	27	0.93	142	4.90	68	2.34	29	1.00	10	0.34	20	0.69	-	-
福井県	-	-	-	-	56	2.55	149	6.77	78	3.55	35	1.59	2	0.09	29	1.32	3	0.14
山梨県	5	0.12	-	-	51	2.04	74	2.96	83	3.32	10	0.40	3	0.12	17	0.68	-	-
長野県	-	-	10	0.20	97	1.90	200	3.92	185	3.63	64	1.25	47	0.92	62	1.22	2	0.04
岐阜県	1	0.01	10	0.19	86	1.62	103	1.94	137	2.58	35	0.66	2	0.04	35	0.66	6	0.11
静岡県	-	-	32	0.37	138	1.60	400	4.65	213	2.48	224	2.60	25	0.29	118	1.37	5	0.06
愛知県	1	0.01	29	0.16	267	1.47	613	3.37	355	1.95	180	0.99	112	0.62	185	1.02	10	0.05
三重県	-	-	3	0.07	77	1.71	292	6.49	141	3.13	288	6.40	4	0.09	63	1.40	-	-
滋賀県	2	0.04	12	0.39	40	1.29	62	2.00	51	1.65	92	2.97	1	0.03	33	1.06	1	0.03
京都府	4	0.03	9	0.12	70	0.92	327	4.30	134	1.76	136	1.79	8	0.11	45	0.59	2	0.03
大阪府	3	0.01	78	0.41	186	0.98	661	3.50	330	1.75	1266	6.70	27	0.14	159	0.84	9	0.05
兵庫県	-	-	58	0.48	138	1.14	481	3.98	265	2.19	621	5.13	37	0.31	147	1.21	4	0.03
奈良県	-	-	2	0.06	34	0.97	146	4.17	46	1.31	514	14.69	9	0.26	26	0.74	1	0.03
和歌山県	-	-	46	1.48	23	0.74	139	4.48	112	3.61	438	14.13	6	0.19	24	0.77	2	0.06
鳥取県	-	-	2	0.11	160	8.42	108	5.68	34	1.79	64	3.37	1	0.05	27	1.42	-	-
島根県	-	-	-	-	21	0.91	91	3.96	37	1.61	10	0.43	1	0.04	17	0.74	1	0.04
岡山県	-	-	26	0.48	56	1.04	162	3.00	70	1.30	80	1.48	19	0.35	53	0.98	2	0.04
広島県	1	0.01	51	0.68	69	0.92	256	3.41	115	1.53	181	2.41	26	0.35	69	0.92	8	0.11
山口県	-	-	14	0.29	77	1.57	194	3.96	187	3.82	123	2.51	1	0.02	78	1.59	2	0.04
徳島県	-	-	6	0.26	6	0.26	49	2.13	65	2.83	120	5.22	-	-	28	1.22	1	0.04
香川県	-	-	6	0.19	32	1.00	65	2.03	39	1.22	89	2.78	19	0.59	22	0.69	2	0.06
愛媛県	-	-	43	1.10	58	1.49	158	4.05	106	2.72	291	7.46	9	0.23	39	1.00	-	-
高知県	-	-	5	0.16	23	0.74	73	2.35	63	2.03	33	1.06	3	0.10	37	1.19	5	0.16
福岡県	-	-	10	0.13	91	1.15	387	4.90	199	2.52	881	11.15	44	0.56	91	1.15	7	0.09
佐賀県	-	-	-	-	24	1.04	51	2.22	66	2.87	557	24.22	10	0.43	33	1.43	-	-
長崎県	-	-	2	0.05	28	0.64	58	1.32	55	1.25	203	4.61	10	0.23	40	0.91	-	-
熊本県	-	-	5	0.10	45	0.92	135	2.76	170	3.47	584	11.92	20	0.41	51	1.04	1	0.02
大分県	-	-	9	0.25	36	1.00	190	5.28	121	3.36	189	5.25	30	0.83	48	1.33	3	0.08
宮崎県	-	-	7	0.19	89	2.41	210	5.68	75	2.03	165	4.46	8	0.22	61	1.65	4	0.11
鹿児島県	12	0.12	9	0.15	61	1.02	223	3.72	115	1.92	698	11.63	6	0.10	65	1.08	5	0.08
沖縄県	-	-	7	0.21	27	0.79	38	1.12	29	0.85	23	0.68	1	0.03	15	0.44	2	0.06

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年26週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	115	0.04	11762	3.97	575	0.19	3216	1.08	24	0.04	877	1.41	6	0.01	12	0.03	69	0.15
北海道	3	0.02	179	1.23	30	0.21	205	1.41	-	-	22	0.76	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.05	203	4.95	2	0.05	43	1.05	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	94	2.47	1	0.03	28	0.74	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	5	0.15	259	7.85	-	-	5	0.15	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
秋田県	3	0.09	72	2.06	2	0.06	24	0.69	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	4	0.14	-	-	11	0.38	-	-	5	0.63	1	0.11	1	0.11	1	0.11
福島県	1	0.02	291	6.06	-	-	18	0.38	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	305	4.07	26	0.35	47	0.63	-	-	58	3.63	-	-	-	-	-	-
栃木県	4	0.09	131	2.91	17	0.38	17	0.38	-	-	29	2.42	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.03	492	7.94	4	0.06	172	2.77	-	-	23	1.64	-	-	1	0.10	1	0.10
埼玉県	2	0.01	1233	7.71	18	0.11	290	1.81	3	0.08	53	1.47	-	-	-	-	-	-
千葉県	12	0.09	1479	11.04	43	0.32	189	1.41	2	0.06	46	1.31	-	-	-	-	-	-
東京都	5	0.04	605	4.26	15	0.11	116	0.82	-	-	30	2.14	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	12	0.06	1108	5.38	25	0.12	287	1.39	-	-	94	2.24	1	0.09	-	-	4	0.36
新潟県	-	-	387	6.45	-	-	46	0.77	1	0.11	4	0.44	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	40	1.38	-	-	5	0.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	48	1.66	-	-	2	0.07	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	73	3.32	4	0.18	11	0.50	-	-	2	0.67	-	-	1	0.17	-	-
山梨県	-	-	24	0.96	-	-	6	0.24	1	0.33	-	-	-	-	1	0.10	-	-
長野県	2	0.04	132	2.59	1	0.02	28	0.55	-	-	16	1.60	-	-	1	0.09	1	0.09
岐阜県	-	-	251	4.74	17	0.32	47	0.89	1	0.09	9	0.82	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	354	4.12	5	0.06	164	1.91	-	-	28	1.33	-	-	-	-	-	-
愛知県	5	0.03	1004	5.52	22	0.12	209	1.15	1	0.03	49	1.44	-	-	-	-	3	0.23
三重県	2	0.04	106	2.36	17	0.38	46	1.02	-	-	15	1.25	-	-	-	-	9	1.00
滋賀県	1	0.03	29	0.94	15	0.48	20	0.65	-	-	18	2.57	-	-	1	0.14	8	1.14
京都府	3	0.04	65	0.86	21	0.28	23	0.30	1	0.06	13	0.72	-	-	-	-	-	-
大阪府	11	0.06	299	1.58	104	0.55	169	0.89	4	0.08	37	0.71	-	-	-	-	-	-
兵庫県	6	0.05	363	3.00	18	0.15	136	1.12	6	0.18	48	1.45	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	1	0.03	26	0.74	19	0.54	21	0.60	-	-	35	3.89	1	0.17	-	-	6	1.00
和歌山県	-	-	16	0.52	15	0.48	16	0.52	-	-	1	0.25	1	0.09	1	0.09	2	0.18
鳥取県	-	-	156	8.21	-	-	18	0.95	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	19	0.83	-	-	23	1.00	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	182	3.37	30	0.56	46	0.85	1	0.08	15	1.25	-	-	-	-	-	-
広島県	6	0.08	251	3.35	16	0.21	86	1.15	1	0.05	29	1.45	-	-	-	-	1	0.05
山口県	-	-	222	4.53	-	-	132	2.69	-	-	16	1.78	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	16	0.70	4	0.17	1	0.04	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	112	3.50	23	0.72	37	1.16	-	-	9	3.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.05	182	4.67	8	0.21	29	0.74	-	-	17	2.43	-	-	-	-	5	0.83
高知県	-	-	101	3.26	12	0.39	27	0.87	-	-	9	3.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	278	3.52	26	0.33	115	1.46	-	-	22	1.22	-	-	-	-	4	0.27
佐賀県	-	-	95	4.13	-	-	51	2.22	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33	-	-
長崎県	2	0.05	57	1.30	7	0.16	17	0.39	1	0.13	13	1.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.04	140	2.86	1	0.02	133	2.71	-	-	13	1.44	2	0.13	2	0.13	13	0.87
大分県	-	-	111	3.08	4	0.11	16	0.44	1	0.20	6	1.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	16	0.43	81	2.19	-	-	50	1.35	-	-	11	2.75	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	73	1.22	2	0.03	31	0.52	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	14	0.41	1	0.03	3	0.09	-	-	29	2.90	-	-	-	-	6	0.86

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年26週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	30	0.07	4	0.01	13	0.03
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	5	0.25	-	-	-	-
宮城県	3	0.43	2	0.29	1	0.14
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	-	-	1	0.08	-	-
東京都	-	-	-	-	4	0.16
神奈川県	1	0.09	-	-	1	0.09
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	2	0.22	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.13	-	-	-	-
兵庫県	3	0.21	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	2	0.25	-	-	-	-
徳島県	2	0.33	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	1	0.20
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	2	0.29
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第26号 平成12年7月14日発行
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL： <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhw.go.jp/>
<厚生省>
<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/>
<成田空港検疫所>
<http://www.forth.go.jp/>
<旅行者のための海外感染症情報>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。